

第6号

愛和の里広報誌

令和 6年 5月 8日 発行



この度、2024年4月1日付で社会福祉法人
フェルマータの理事長に就任しました、
アンダンテグループ代表畠山大志郎です。

アンダンテグループは、地域社会が抱える
課題を解決し、安心して暖かい街づくりに貢
献することを目的に設立したグループです。

地域の課題を一つ一つクリアし、そこに住まわれる住民の皆さんそれぞれが個性を発揮して自分らしさを失わず、人間らしい自立した生活を送ることが可能な社会を築くこと、それを私たちの使命としています。

地域の皆様の声に耳を傾け、必要とされるサービスを私達は提供し続けながら、地域に密着した幅広い事業展開を通して社会の活性化の一翼を担えればと思っています。

お互いを尊重し、依存ではなく心地よく共存できる「安心で」「あたたかい」地域社会へのお役立ちへ。地域の皆様方のご協力を頂きながら、末永く歩み続けられるグループにしていきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。



田代地区の皆さま 施設長の林です

昨年度より面会やボランティアさんだけでなく、地域の夏祭りに参加したり、楓葉祭を始めとする行事・レクリエーションなどで施設内を開放し、皆様に愛和の里を知っていただいたりと、施設全体で積極的に動いております。私自身、古座野区長、木村校長をはじめ、地域課題の検討会や交流の場に参加させていただき感謝しております。

さて、田代小学校児童や保育園園児との交流、ご近所さんのお子サンタ、餅つき、初詣でも半僧坊大祭でも、ここ数年で出来なかった時間をどんどん取り戻しています。

実際に、目の前でちびっ子が飛んだり跳ねたり、歌や演奏を聴いたり、最愛の家族と手を取り合ったりして過ごす時間がいかに大切に実感できます。

心配ごとが少なくなること、次の楽しみが増えること、好きなものを食べること、すべてが元気の毎日につながりますね。

そんな愛和の里はいつでも開放していますので、どうぞ地域の社会資源を見に来てください。

玄孫中心

あっ【112歳】ばれ



昨年度後期行事

楓葉祭

約4年振りに開催することができました。地域の方々や愛川高校の和太鼓部の方々も参加して頂けました。

クリスマス会

地域の学生さんがクリスマスソングを演奏してくださったり、ちびっ子サンタさんがプレゼントを渡してくださいました

餅つき・獅子舞

地域の方の協力をえて餅つきを開催することができました。



食を楽しみに

当施設では月1回選択メニューを実施しております。昨年度下半期は

10月 A:鰯のタルタルソース掛け B:鶏肉の塩麴焼き
1月 A:ハンバーグ B:鮭のちゃんちゃん焼き
などのラインナップでご提供しました。各々迷いながら好みのメニューを召し上がっていらっしゃいました。

また、季節に合わせたイベントメニューを提供しています。今期特に人気だったのが、11月30日実施したお寿司バイキング。普段の食事では、お刺身をはじめ生物の提供はしていませんが、冬期間限定で提供しています。久しぶりのお寿司の提供に、皆様がとても喜んでくださり、良い時間を過ごす事が出来ました。



ボランティア活動・地域交流

①ボランティアの集いについて

毎月定期で来られているボランティアさんが4名います。カラオケ、車椅子掃除、おしぼりたたみ、入居者様とのお話など大活躍です。

そんなボランティアの皆さん集まっておいただき、一年間のねぎらいの会を開きました。その際一年間活躍してみて、思ったことや改善点を発表していただき、実りのある会になりました。

②田代小学校交流会について

田代小学校の2年生、3年生、4年生が、各日に歌や演奏、ダンスを披露してくださいました。また、いちょっこ会やふれあいレク(150周年記念)、美化清掃にも大勢で参加させていただき、ありがとうございました。



施設内研修



①研修の実施状況について

12月18日事故防止・移乗動作研修を行いました。

外部講師…介護福祉士の小野寺先生にお越し頂き、ボディメカニクスを利用して、介護者、要介護者双方に負担のかからない介助方法をご指導していただきました。

腰痛予防になる移乗や移動の方法、ベッド上で身体を動かしやすい方法。研修参加者からは、今まで教わったことがない斬新な方法を知ったり、今まで悩んでいたことが解決できたりと、驚きと嬉しさが混じった声が聞かれました。

介護だけの視点でなく、日常生活を送るうえでも、腰痛予防に活用できる大変有意義な研修でした。



防犯・防災

当施設では、厚木警察署や愛川町消防本部の指導のもと、また地域の皆様の協力を得ながら、防犯対策・防災訓練を実施しております。

防犯対策では、厚木警察署より田代の駐在さんに施設内外の点検や、万が一を想定した、職員ができることを確認しました。

火災訓練では、単に消火訓練や火災報知機の確認にとどまらず、施設でできること、地域でできることを念頭に置き、地域の代表者と意見交換しながら行っております。

避難訓練では、公的な避難場所での役割とは異なり、要介護者・職員・ボランティアの生命や安全を守る訓練が必要となります。丈夫で頑丈な建物の利点を十分に生かしながら、今後も地域との顔が見える関係構築に努めてまいります。

